

平成26年10月24日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

石油ふろがま、自転車に関する事故（リコール対象製品）について
（詳細は次頁以降参照）

- | | |
|---|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うち屋外式（RF式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用）1件、
石油ふろがま1件、
半密閉式（FE式）ガス瞬間湯沸器（都市ガス用）1件） | 3件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うち自転車1件、椅子1件、携帯電話機（スマートフォン）1件、
コンセント1件） | 4件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うち鍋（取っ手着脱式）1件） | 1件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件無し | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについて（管理番号A201400443）

① 事故事象について

株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまのタイマーをセットした後、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、機器の修理、点検及び空だき防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空だき防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空だきとなった際に空だき防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、修理・点検時における点検用コネクターの戻し忘れにより空だき事故が発生したことから、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）7月27日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、同年7月28日に新聞社告を掲載し、点検用コネクターが付属されている全ての製品について、注意喚起及び無償点検による点検用コネクターの回収を開始しました。

また、他の対象製品と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S）については、空だき防止回路が不安定となることによって空だき防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を開始しました。

同社は、無償点検と点検用コネクターの回収等を促進するため、2009年（平成21年）10月から2010年（平成22年）3月までテレビCM放映により、また、これまで継続的に、販売店、サービス店を通じ、同社製品全般の修理・点検時に対象製品があった場合には、点検用コネクターの戻し忘れがないかの確認と回収等を徹底するとともに、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等により、対象製品の使用者に対し呼び掛けを行っています。

さらに、2013年（平成25年）4月から10月までテレビCM、11月にはケーブルテレビ（全国25局）での放映、本年は2月3日から3月31日までテレビCM放映を行ったところであり、今後も引き続き、地域性に応じて、新聞折込みチラシやテレビCM放映等により、呼び掛けを行っていくこととしています。

③ 対象製品：品目、機種・型式、対象製造期間、対象台数

品目	機種・型式	対象製造期間	対象台数
石油ふろがま	JK、JK2、JK-N ※ (ハナ-ナ-型式：BM-71K、BM-71KT) (セット型式：JPK、JPS-T、JPK-N)	1984年7月 ～ 1991年9月	243,420
	JPS-T3、JPK-N3 (ハナ-ナ-型式：BM-73K) (ハナ-ナ-製造番号 000001～238930、 500002～588761が対象)	1991年8月 ～ 2001年9月	257,603
	CK-8、CK-8E	1985年1月～ 1992年5月	23,815
	CK-9、CK-9E	1985年11月～ 1987年7月	3,840
	CK-10、CK-10S (製造番号 000001～040080が対象)	1986年12月～ 2001年9月	54,181
	CK-11、CK-11S	1987年4月～ 1999年10月	111,085
		小計	

追焚付石油給湯器	JIB-T	1984年11月～ 1988年1月	3,150
	JIB-2T	1984年10月～ 1988年7月	9,093
	JIB-4	1983年4月～ 1984年8月	4,323
	JIB-5、JIB-5E、JIB-5S、JIB-5SE	1983年11月～ 1986年7月	12,990
	JIB-6N、JIB-6NE、JIB-6NEG、 JIB-6NS、JIB-6NSG、JIB-6EA、 JIB-6EAG、JIB-6SA、JIB-6SAG	1986年3月 ～ 1988年4月	30,333
	JIB-7EG、JIB-7S、JIB-7SAG、 JIB-7SG	1987年12月～ 1991年12月	39,134
	小計		99,023
合計		792,967	

(注) ※印の型式については、機器本体に表示がされており、別途、バーナー部には、バーナー型式名、取扱説明書には、セット型式が表示されています。

2007年（平成19年）7月27日からリコール（無償点検・改修）を実施
改修率：34.1%（2014年9月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400443）発生以前の、2010年度以降同社が製造した当該製品におけるリコール対象の内容による事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	3	火災	2011年度	7	火災
2013年度	3	火災	2010年度	1	火災
2012年度	5	火災			

＜対象製品の外観及び確認方法＞

《型式表示場所》 ※ 図は一例ですが、本体正面または側面に型式名の表示があります。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、浴槽に水があることを確認して使用していただくとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社長府製作所

電話番号：0120-911-870

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html>

(2)トレック・ジャパン株式会社が輸入した自転車について（管理番号A201400440）

①事象について

トレック・ジャパン株式会社が輸入した自転車で走行中、フロントフォークが破損し、前輪が外れ、転倒、負傷する事故が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償部品交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、SR Suntour社製のサスペンションフォークを搭載した自転車の一部で、ドロップアウトエンド部分が破損し、走行中の事故につながるおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2014年（平成26年）6月26日にウェブサイトに情報を掲載するとともに、購入者に対する連絡、店頭ポスターによる周知を行い、対象製品について無償の部品交換を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（A201400440）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：対象年式、機種・型式、対象製造期間、対象台数

対象年式	機種・型式	対象製造期間	対象台数
TREK 2011年モデル	Wahoo	2010年9月24日 ～ 現在販売中	8,286
	Marlin		
	Marlin SS		
	Montare		
	Utopia		
TREK 2012年モデル	8.3DS		
	8.4DS		
	8.5DS		
	Neko SL		
	Marlin		
	Marlin SS		
TREK 2013年モデル	Wahoo		
	8.3DS		
	8.4DS		
	8.5DS		
	8.6DS		
	Neko SL		
	Cali		
	Marlin		
Wahoo			

2014年（平成26年）6月26日からリコール（無償部品交換）を実施
改修率 25.5%（2014年10月23日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400440）発生以前の、2010年度以降同社が輸入した当該製品におけるリコール対象の内容による事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	1	重傷1名	2011年度	0	—
2013年度	0	—	2010年度	0	—
2012年度	0	—			

<対象製品の外観>



2013 Trek 8.3 DS

<対象製品の確認方法>



モデル名はフレームに記載され、ほとんどの場合トップチューブの前後どちらか一端に記載されています。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに販売店又は下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

トレック・ジャパン株式会社

電話番号：0120-939007

受付時間：10時～12時30分、13時30分～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://www.trekbikes.co.jp/jp/ja/support/safety_and_recalls/

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 木原、後藤、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについて、トレック・ジャパン株式会社が輸入した自転車についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、鈴木、植杉 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201400438	平成26年9月17日	平成26年10月20日	屋外式(RF式)ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	HOL-1670AQ	株式会社ガスター	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	製造から10年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは10月10日
A201400443	平成26年9月26日	平成26年10月21日	石油ふろがま	JPK-N3	株式会社長府製作所	火災	当該製品のタイマーをセットした後、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、機器の修理、点検及び空だき防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター(空だき防止装置を働かせないようにするもの)を修理・点検後に戻し忘れたため、空だきとなった際に空だき防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	岐阜県	製造から20年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率34.1% 10月17日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400444	平成26年10月10日	平成26年10月22日	半密閉式(FE式)ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	GQ-5011WZ-F-2	株式会社ノーリツ	火災	事務所で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201400440	平成26年9月13日	平成26年10月20日	自転車	8.3DS	トレック・ジャパン株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品で走行中、フロントフォークが破損し、前輪が外れ、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	東京都	平成26年6月26日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率25.5% 事業者が事故を認識したのは10月16日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400441	平成26年9月14日	平成26年10月20日	椅子	50137741	イケア・ジャパン株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品を使用中、座面が破損し、転倒、腰を負傷した。現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは10月10日
A201400442	平成26年10月10日	平成26年10月20日	携帯電話機(スマートフォン)	ME039J/A	有限会社アップルジャパンホールディングス (現 Apple Japan合同会社) (輸入事業者)	火災 軽傷1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。現在、原因を調査中。	東京都	10月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400445	平成26年10月7日	平成26年10月22日	コンセント	WTF1532WK	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品に電気製品を接続して使用后、当該電気製品の電源プラグを抜くと、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	福岡県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400439	平成26年9月7日	平成26年10月20日	銅(取っ手着脱式)	重傷1名	当該製品で調理後、水につけたところ、蒸気により右腕に火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは10月14日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

椅子（管理番号：A201400441）



携帯電話機（スマートフォン）（管理番号：A201400442）



コンセント (管理番号 : A201400445)

